

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

函館看護専門学校

科目名	単位(時間数)	授業概要	実務経験がどのように生かされているか
解剖生理学Ⅲ (消化器・吸収)	1 (30)	消化・吸収のしくみについて学ぶ。	臨床で行われている手術映像教材などを利用し、講師が解説をしながら、消化に関する臓器の構造など学生に理解しやすいような授業を展開している。
文化人類学	1 (30)	地域の文化を通し異文化社会の固有の体系を相対的に理解し、人間の価値観の多様性や人類の普遍性について理解を深める。	講師は、大学でも文化人類学を専門とした研究者であり、実際に海外でフィールドワークをされているため、授業内では世界中の様々な文化について紹介し価値観の多様性を教授している。
関係法規	2 (30)	健康な生活を維持するための、保険医療の制度と関連する法規について学ぶ。専門職業人として看護師の責任と義務等に関する法規を学ぶ。	講師は、現在も管理業務に携わっているため、法令などの知識に加え、実体験をもとに学生に分かりやすく授業を行っている。
基礎看護学技術Ⅰ(A)	1 (30)	バイタルサイン測定、電法、身体計測の目的の学習と技術の取得のための演習を行う。	講師は、病院勤務看護師の経験を活かし、バイタルサイン測定、電法、身体計測の方法と目的、実際の技術について、デモンストレーション・演習を行い教授している。
基礎看護学技術Ⅳ	1 (30)	療養生活の環境を構成する要素を理解し、病室・病床の環境のアセスメントと調整について学ぶ。ベッド周囲の環境整備・ベッドメイキング・リネン交換の実際について学ぶ。	講師は病院・施設での経験を活かし、ベッドメイキング・環境調整・リネン交換の基本的技術を、デモンストレーションを行った後、演習を行うなど実践に基づいた授業を行っている。
成人看護学援助論Ⅱ (呼吸器・循環器)	1 (30)	循環器の障害を持つ成人期の対象を総合的に捉え看護を実践するための基礎的知識・技術・態度を学ぶ。	講師は現在も呼吸器・循環器科病棟に勤務中であり学生指導の経験も豊富なため、体験談などから呼吸器・循環器疾患の看護について、具体的に教授している。また、実際に心電図検査の実際等の演習を行い、わかりやすいように工夫した授業を行っている。
成人看護学援助論Ⅲ (内分泌・消化器)	1 (30)	内分泌・消化器の障害を持つ成人期の対象を総合的に捉え看護を実践するための基礎的知識・技術・態度を学ぶ。	実際の医療現場で行われている自己血糖測定の方法・人工肛門などについても、器具を用いてデモンストレーションするなど、学生が理解しやすいような工夫が行われている。
母性看護学援助論Ⅱ	2 (60)	周産期の対象の理解、看護ケアについて学び、対象に必要な看護を実践する能力を養う。	臨床で実際に行われている乳房マッサージや妊婦検診時の腹囲測定などを、学校の教材を用い、参加型演習形式で学生に実際に体験してもらうなど工夫を行っている。
精神看護学援助論Ⅰ	1 (30)	精神障害者の社会背景や精神障害に対する正しい知識を持ち、その援助方法を理解し、保健・医療・福祉の視点から地域で生活する精神障害者の看護と暮らしの場の拡大のための援助を学ぶ。	精神疾患を持つ患者に行われている実際の看護の場面を（抑制の援助等）想定した演習などを、実際の学生に体験型演習を行い、学びを深めている。
在宅看護援助論	2 (60)	個々の家族を含んだ対象の状況に応じた在宅看護を展開するために、基礎看護学で学んだ基礎看護技術を統合し、在宅場面で実施できる知識・技術を学ぶ。	実際に講師が臨床の場で、関わらせて頂いた症例を個人情報に配慮しながら複数の事例を作成し、学生がGWを通し”在宅看護とは”について考えさせるような授業展開を行っている。

合 計 13 (360)